

		科目コード	210
科目名	成熟期・慢性看護学特論Ⅱ (Advanced Study on Chronic Nursing for Adults and Aged Ⅱ)	選択区分	選択
単位数 (時間)	2 単位 (30時間)	履修時期	1 後
担当者	中西 純子		
授業概要	国内外の文献等を通して、慢性病とともに生きる成熟期 (成人期・老年期) にある人とその家族が抱える健康課題の評価尺度や支援方法の開発状況と課題を概観した後、支援の基盤となる理論を取り上げ、臨床看護における適用を検討する。担当者によるプレゼンテーションと討論を中心に進める。		
授業目標	1. 慢性看護の実践を導く諸概念や理論、尺度、アプローチ法等にどのようなものがあるかを知る。 2. 1 の実践への適用の実際、可能性について検討し、有益性と課題 (限界) について意見を述べることができる。 3. 慢性看護における倫理的課題について検討することができる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容		担当者
1	イントロダクション	慢性疾患患者を取り巻く状況と求められる看護 (ケア方法、治療・療養環境整備)		中西 純子
2	健康課題の評価尺度の開発状況	慢性病者の健康課題を評価する測定用具の国内外の開発状況について文献検索から概観する		
3	支援モデルやプログラムの開発状況	慢性病者の健康課題への支援モデルやプログラムの国内外の開発状況について文献検索から概観する。		
4	尺度 or プログラムの開発過程と評価	文献検索から抽出された尺度もしくはプログラムを1～2つ取り上げ、その開発過程と信頼性・実用性を評価する。		
5	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用①	変化ステージ理論	1 理論の生成過程 2 理論の内容 3 理論の適用 4 理論の有用性の検証状況 5 本理論の課題 の観点からプレゼン・討論 を行う。	
6	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用②	保健信念モデル		
7	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用③	エンパワメントモデル/ 自己効力感		
8	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用④	動機づけ面接法		
9	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用④	ソーシャルサポート		
10	慢性疾患患者にとっての 外来看護の現状と展望	外来看護において先駆的あるいはユニークな取り組み事例を紹介しその有効性や課題について討論する。		
11	慢性看護の専門性	慢性看護専門看護師の活動について		
12				
13	倫理的課題と調整	慢性病者の看護に関わる倫理的課題に関する事例検討		
14				
15	慢性看護における多職種 連携と資源活用	連携できる職種あるいは活用できる資源にどのようなものがあるか検討し、その可能性と課題について討論する。		
成績評価方法		担当プレゼンテーションの内容 (50%)、各回の討論の内容 (50%)		
必携あるいは 参考図書・文献		参考図書①Karen Glanz 他著, Health Behavior and Health Education: Theory, Research, and Practice, 3 rd ed., 曾根智史他訳: 健康行動と健康教育 理論、研究、実践、医学書院 ②Stephen Rollnick&William R. Miller, et al (2007): Motivational Interviewing in Health Care: Helping Patients Change Behavior, 後藤恵他訳: 動機づけ面接法 実践入門「あらゆる医療現場で応用するために」, 星和書店		
備 考		成熟期・慢性看護学特論Ⅰの履修を前提とする。授業内容の順序は変更の可能性がある。		